

# USERS REPORT

ユーザーズレポート

菓子店

## 丘の上の菓子工房 [The Sun 蔵人]

いつもキレイなユニフォームで従業員のモチベーションがアップ！  
誇りと自信を持って接客できるように。



女性スタッフのユニフォームには帽子を採用し、優しくやわらかな印象に。

自宅用や土産に購入する地元の方、旅行土産を買いに訪れる観光客、どちらにも人気がある。



### ・課題だったこと

ユニフォームが傷んできたら買い替えずにはならなかった。コスト的にボロボロな状態のまま着続けてしまっていた。

### ・導入のきっかけ

レンタルシステムの補修サービスが魅力的だった。いつも傷んでいないキレイなユニフォーム姿で接客できると思った。

### ・使ってみた感想

メンテナンスが期待以上だった！こちらが気になる前に傷んだユニフォームが補修されていて本当に嬉しい。

**ユニフォームのデザインは従業員みんなで意見を出し合って決めた**

冬の朝にはダイヤモンドダストが輝く北海道・旭川市。国内最大級のプラタナス並木が美しい通称「旭川ロマンチック街道」に、ひとときわ目を引く石造りの蔵がある。「丘の上の菓子工房 The Sun 蔵人」だ。

「店舗となっている石造りの蔵は、明治時代に建てられた酒造工場を解体して、その石で当時の外観を再現させたものなんです」と、本店チーフ四戸亨さん。写真撮影をする観光客も多いという。店内の雰囲気もユニフォームを含め、お洒落だ。

「ユニフォームのデザインは、従業員みんなで意見を出し合って選びました。いくつかサンプルを出してもらったのでイメージしやすかったです。以前はグレーカラーで統一されたシックなベストスタイルだったのですが、販売する従業員たちも「製造している仲間の一員である」という意味を込めて、コックコートのデザインに変えました」と四戸さん。店舗の雰囲気や照明と合ったブラウン系でまとめ、男女どちらが着用しても違和感のないユニフォームを選んだ。

**レンタルシステムの補修サービスが魅力だった**

ユニフォームレンタルを導入したのは、お菓子業界の競争が厳しくなっていく中で「もっと従業員が一丸となって会社を盛り上げていく必要がある」との想いからだったという。

「以前は購入したユニフォームをクリーニングに出していたんです。だからユニフォームが傷んできたら、また買い替えなくてはなりませんでした。でも、コストのことを考えると、なかなか買い替えるタイミングがつかめなくて、実はユニフォームが傷んでボロボロな状態だったのに、着続けてしまっていたんです」と四戸さんは話す。このままではダメだと考え、ユニフォームレンタルを検討し始めたという。



「販売スタッフもコックコートにしたことで、スタッフみんなの連帯感が生まれたと思います」と、本店チーフ四戸亨さん。

**ユニフォームレンタルにしてから従業員たちの意識が変化**

「実は、レンタルシステムの傷んだユニフォームを補修してくれるサービスが一番魅力を感じました。まとまったコストをかけてユニフォームを買い替えずに、いつもキレイなユニフォーム姿で接客できるぞと。そこで、営業で来店していたサニクリーンをお願いし、連絡したのが導入のきっかけとなった。

実際にユニフォームが変わって、従業員たちの意識にも変化があったという。ボロボロだったユニフォームが一新され、サニクリーンのユニフォームレンタルにして

から、従業員たちのモチベーションがアップ。「丘の上の菓子工房 The Sun 蔵人」のスタッフである誇りと自信をもって接客できるようになったとのこと。

「定期的なクリーニングで、しっかりと汚れが落ちて清潔だし、パリッとシワなく仕上がってくるので、お客さまにも好印象だと思いますね。メンテナンスについては期待以上でした。ボールペンの出し入れでポケットを傷つけてしまったたり、ズボンのホックが取れかかっていたりすると、すぐに補修されて戻ってくるんです。こちらが気になる前に補修されているので、本当に嬉しいですね」と、四戸さんはユニフォームレンタルの良さを実感していると話してくれ

た。サニクリーンの担当者については、「ちょっと困ったことがあったら、相談してみようとなりませぬ。ユニフォーム以外にもイベント関係のことで相談したことがありますが、対応してくれて助かったことがあります。頼もしい存在ですね」と四戸さん。観光客からも地元のお客さまからも愛される「丘の上の菓子工房 The Sun 蔵人」。そのお店からユニフォームレンタルが選ばれたことは、サニクリーンの誇りでもある。



上着の袖は折り曲げて七分袖になるデザインで、商品を包む時に邪魔になることなく作業できる。ズボンは伸縮性のある素材で動きやすいという。従業員みんなデザインも着心地も気に入っている。



1階は販売スペース、2階は広々としたイトインスペースになっており無料のドリンクサービスも。和菓子・洋菓子とも豊富な品揃えで、多くのお客さまで賑わっている。



「黒糖饅頭 金蒸し蔵」は直営店限定販売。黒糖の風味があり、たっぷりのあんこでもペロッと食べられちゃう、ほど良い甘さ。



「ユニフォームの集配の時に、相談しやすかったり、要望を出しやすかったりするのがいいですね」と話す四戸さんに「ありがとうございます！」と答えるサニクリーン北海道の新田さん。

菓子店

**丘の上の菓子工房  
【The Sun 蔵人】**

<https://sun-kuroudo.com>

北海道旭川市神楽岡8条1丁目

TEL.0120-30-3961 / 0166-66-3961

